

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

記入日 2008年 1月21日

1. 概要

実践団体名	一寺言問を防災のまちにする会	
連絡先	電話番号	03-3619-4997
プランタイトル	中学生の地域防災訓練参加体験と意識調査に基づいた「向島地域防災マップ」の作成	
目的	当会を含む向島地域は墨田区の北半分を占めるエリアで、かつて高齢者が多く、災害危険度の高い地域である。そのため、中学生に対し具体的な防災意識の醸成と連携が望まれており、中学生の居住地における防災体験と情報共有のしやすいマップによるアイディアの蓄積が重要であると考えている。	
プランの概略	地域町会の主催する防災訓練に、その地域在住の中学生の参加を促進するため、学校と連携して、参加した中学生に「地域防災訓練参加証明書」を発行するとともに、一言会地域についての「地域防災意識調査」を実施する。	
プランの対象	墨田区北部向島地域の各中学校生（予定）約 200 名程度	
実施日時	2007年9月～11月（地域防災訓練、防災意識調査）／2008年1月（マップ印刷）	
実施場所	各地域町会の防災訓練実施場所（百花園児童遊園、第二寺島小学校、ふじの木公園、第一寺島小学校、さくら児童遊園、ふじ公園、隅田公園自由広場）	
連携した団体	連携団体の有無	あり
	連携した団体	<p>1) 東向島宮元町会、東向島町会、堤通一丁目町会、曳舟中町会、東向島一丁目中町会、東向一南町会、東向島二丁目睦町会、東向島二丁目町会、本所北部連合町会（15町会：向島一丁目町会、向島二丁目睦町会、向島三二町会、向島三丁目町会、向島四丁目南町会、向島四丁目北町会、向島五丁目西町会、向島五丁目東町会、小梅一丁目町会、小梅二丁目町会、小梅三丁目町会、押上一丁目町会、押上一丁目仲町会、押上二丁目町会、中之郷町会）</p> <p>2) 第一寺島小学校防災連絡会（7町会：東向島宮元町会、堤通一丁目町会、曳舟中町会、東向島一丁目中町会、東向一南町会、東向島二丁目睦町会、東向島二丁目町会）</p> <p>3) 第一寺島小学校同窓会</p>
	連携したきっかけ・理由	<p>1) 2) は、地域防災訓練実施と中学生に対する「地域防災訓練参加証明書」の手渡しの依頼</p> <p>3) は、アンケート調査の補助</p>

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

	連携団体へのアプローチ方法	<p>1) は町会長会議や、その後の町会長、防災担当部長などへの提案。</p> <p>2) は、連絡会幹事への事前依頼と会議での提案。</p> <p>3) は、同窓会長や幹事長への依頼。</p>
	連携団体との打ち合わせ回数	<p>1) は、各団体の会議への参加等を含め2回程度</p> <p>2) は、3回</p> <p>3) は2回</p>
	連携団体との役割分担	<p>1) は、地域へのPR。参加賞の用意などをしていただいた。</p> <p>2) は、各参加町会への提案、周知。</p> <p>2) は、中学生幹事リストのご提供。</p>

2. プランの立案過程

プラン立案メンバーの人数と役割	団体内のスタッフ総人数	10人
	外部スタッフの総人数	5人
	主なメンバーの役職・役割	<p>○青木隆雄 一言会会長 全体的な総括</p> <p>○佐原滋元 一言会事務局 「地域防災訓練参加証明書」の検討</p> <p>○真野洋介 一言会参与・東京工業大学準教授 「地域防災意識調査」の検討</p> <p>○高原純子 一言会会計 会計</p>
プラン立案に要した日数・時間	立案期間	<p>中学生の「地域防災訓練参加証明書」については、平成17年度の三中学校校長への提案からその実現を模索していた。</p> <p>「地域防災意識調査」については平成17年度に一言会地域で実施した防災意識住民アンケート調査をふまえて立案された。</p> <p>チャレンジプランに対応した具体的な立案期間としては、平成18年12月から2月まで。</p>
	立案時間	概ね2ヶ月
	上記のうち打ち合わせ時間	<p>打ち合わせ会議 1時間×3回</p> <p>その他、細部についての調整等は出向いてのヒヤリングやメールによる。</p>

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

プラン立案 で注意を 払った点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域町会の防災訓練については、主催各々の町会等にあるため、どのような形で、主催者の負担を少なくしご協力をいただくか配慮した。 ○ 参加した中学生が、各中学校でどのように評価、処遇されるか配慮した。
プラン立案 で苦労した点	<p>中学校の学校選択自由制により、地域町会等では中学生の進路実体がほとんど把握できなくなっているため、中学生への対応について地域町会でほとんど手が付けられない状態であった。中学生の防災教育については、各中学校で独自の取り組みをとっており事前に掌握がとれなかった。</p>

3. 実践にあたっての準備

準備に 関わった方と 人数・役割	団体内の スタッフ総人数	10人
	外部スタッフの 総人数	5人
	主なメンバーの 役職・役割	<ul style="list-style-type: none"> ○青木隆雄 一言会会長 全体的な総括 ○佐原滋元 一言会事務局 「地域防災訓練参加証明書」の準備と全体的な事務のまとめ ○真野洋介 一言会参与・東京工業大学準教授 「地域防災意識調査」調査用紙の作成とまとめ ○高原純子 一言会会計 会計
準備に要した 日数・時間	準備期間	2007年5月～2007年10月
	準備総時間	およそ2ヶ月
	上記の打ち合わせ回 数	内部の会議 4回 その他、関係諸団体との連絡調整
教育関係への 働きかけ	働きかけた 教育関係者・機関名	区立中学校校長会

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

	どのように働きかけたか	教育委員会のご紹介により、プランの主旨と概要をご提案させていただくため会議への参加をお許しいただいた。
	結果	各学校での参加証や参加した生徒の評価等は異なるが、積極的に対応したいとのお話しをいただいた。
地域への働きかけ	働きかけた地域の人・機関名	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東向島宮元町会 (M) 町会長、 2) 東向島町会 町会長 3) 曳舟中町会 町会長 4) 第一寺島小学校防災連絡会 (M) 連絡会会長 5) 堤通一丁目町会 (M) 副会長 (町会長入院中のため) 6) 東向島二丁目町会 町会長 7) 本所北部連合町会 (M) 連合会長、各会長 8) 第一寺島小学校同窓会 (M) 会長、幹事長 注 (M) はその組織内に一言会幹事がある団体
	どのように働きかけたか	<ol style="list-style-type: none"> 1) 5) 町会の運営委員会で、主旨と内容を説明し、協力を依頼した。 2) 3) 町会長へ主旨と内容を説明し、協力を依頼した。 4) 連絡会で主旨と内容を説明し、参加町会の町会長、防災部長などへ協力を依頼した。メンバーの中で合同で訓練を行う三町会 (東向一南町会、東向島中町会、東向島睦町会) 関係する一言会幹事が直接に働きかけた。 6) 町会長へ主旨と内容を説明し、協力を依頼した後、防災部長と細部の詰めをおこなった。 7) 関係する一言会幹事が会長会で提案し了解をいただいた後、会長会で具体的な説明をおこなった。 8) 会長宅へ伺い協力をお願いした。
	結果	各地域町会については、初めてのことであり躊躇や参加賞などの課題もあったが、いずれも、中学生には参加してもらいたいとの意向が強く快くご理解、ご協力いただくことができた。 同窓会については、同窓生の地域活動への協力と言う観点からご理解、ご協力をいただいた。
保護者・PTAへの働きかけ	働きかけた保護者・PTA組織名	墨田区中学校PTA連合会
	どのように働きかけたか	連合会会長に資料をお渡しし、会長会でご説明していただいた。

2007 年度 防災教育 チャレンジプラン 最 終 報 告 書

	結果	連合会への取り組みが遅れたことは反省材料となった。
機材・教材の準備方法	用意した機材・教材	「地域防災訓練参加証明書」、「地域防災意識調査」調査用紙
	入手先・入手方法	「地域防災訓練参加証明書」は、一言会の幹事が作成し、印刷した。 「地域防災意識調査」調査用紙は、東京工業大学真野研究室に依頼し、作成、印刷していただいた。
	機材教材の選定理由	「地域防災意識調査」については、17年度に地域住民対象の防災意識調査を、東京工業大学真野研究室が実施したため、その継続性から今回もお願いした。
参加者の募集	募集方法	○近隣中学校の生徒向けに、町会等で開催する地域防災訓練の予定を知らせるチラシやポスターを作成した。 ○ その他、各地域町会において独自の広報をおこなった。 ○ 第一寺島小学校同窓会の協力で「地域防災意識調査」の郵送調査をおこなった。
	募集期間	○ 9月1日～11月25日（各地域町会、中学によってばらつきがある） ○ 「地域防災意識調査」の郵送調査は、12月20日～
	参加予想人数	200人（参加対象人数）
	実際の参加人数	○ 「地域防災訓練参加証明書」の発行 16人 ○ 「地域防災意識調査」調査の回収 5人（郵送回収を含む）
	募集方法の成功点	近隣中学校（寺島中学校、向島中学校、墨田中学校、本所中学校）で直接生徒にチラシを配布していただいた。
	募集方法の失敗点	どのような募集方法がよいのか試行錯誤であったが、全体的に広報が遅れた点。
	準備で苦労した点 工夫した点	中学校での受け入れ体制が前提となっているため、その結論をいただくまでは、地域町会に対して本格的な提案が出来なかった。 各地域町会の防災訓練は、毎年の恒例的な事業で、地域住民が対象となっているため、早いところでも2ヶ月前くらいから、遅いところでは1ヶ月前くらいから準備作業に着手する団体が多い。そのため防災訓練についての新しい提案がなかなか議論されず、受け入れの結論もなかなか出ないため、全体的な日程を示す募集・広報が展開しにくかった。

**2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書**

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

4. タイムスケジュール

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2006年 12月	○墨田区防災課との打ち合わせ ○チャレンジプラン応募内容の検討		
2007年 1月	○墨田区防災課との打ち合わせ		
2007年 2月			
2007年 3月			
2007年 4月		○教育委員会、中学校向け提案文書の検討 ○地域町会向け提案文書の検討	
2007年 5月		○連合町会等へのコンタクト	
2007年 6月	○教育委員会や中学校との連携についての協議	○教育委員会へのコンタクト ○教育委員会指導室との協議	
2007年 7月		○7/17 中学校校長会との協議 ○「地域防災訓練参加証明書」印刷原稿の準備 ○墨田区防災課より防災訓練実施団体リストの写しをいただく	
2007年 8月		○第一寺島小学校防災連絡会との事前協議 ○東向島宮元町会との協議 ○東向島二丁目町会との事	

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

		<p>前協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 向島消防署との協議 ○ 「地域防災訓練参加証明書」の印刷 ○ 「地域防災意識調査」調査内容の検討 ○ 「地域防災意識調査」調査用紙の作成 	
2007年 9月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 東向島町会との協議 ○ 曳舟中町会との協議 ○ 第一寺島小学校防災連絡会との事前協議 ○ 東向島二丁目町会との協議 	○9/9 東向島宮元町会防災訓練
2007年 10月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 本所地区北部連合町会との事前協議（地域の祭礼で多忙のため、協議がおくれる） 	<ul style="list-style-type: none"> ○10/21 東向島町会防災訓練 ○10/21 曳舟中町会防災訓練 ○10/21 東向一南町会・東向島中町会・東向島睦町会合同防災訓練 ○10/28 堤通一丁目町会防災訓練（雨天のため中止）
2007年 11月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 本所地区北部連合町会との協議 ○ 「地域防災意識調査」の見直し協議 	<ul style="list-style-type: none"> ○11/11 東向島二丁目町会防災訓練 ○11/25 本所地区北部連合町会防災訓練
2007年 12月			○一寺同窓会中学生幹事への「地域防災意識調査」（郵送）
2008年 1月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域防災意識調査」調査の整理・分析 ○ 救急救命講習会についての向島消防署との協議 （現在、中学校単位で講習会を行いつつあり、講習会の呼びかけを見直した方がいいとの助言） ○ 中学校との協議 （これから来年度のカリキ 	

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

		ユラム編成時に講習会が入 る可能性がある)	
2008年 2月			
2008年 3月			

**2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書**

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【B. イベント】（メインとなる活動を45分1コマとして記入してください）

タイトル	東向島宮元町会防災訓練	東向島町会防災訓練	曳舟中町会防災訓練	東向一南町会・東向島中町会・東向島睦町会合同防災訓練
実施日	9月9日（日）	10月21日（日）	10月21日（日）	10月21日（日）
所要時間	午前10時～12時	午前10時～12時	午前10時～12時	
達成目標	参加者約200人、 内中学生0人	参加者約230人、 内中学生0人	参加者約150人、 内中学生0人	参加者約200人、 内中学生1人
生成物	○ 中学校に対する「実績報告書（11月1日付け）」 ○ 保護者より学校行事で参加不能の申し出2人あった	○ 中学校に対する「実績報告書（11月1日付け）」	○ 中学校に対する「実績報告書（11月1日付け）」	○ 「地域防災意識調査」回収1件 ○ 「地域防災訓練参加証明書」発行1人 ○ 中学校に対する「実績報告書（11月1日付け）」
進め方 （箇条書き）	○本部テントに中学生受付コーナーを用意	○全体集会で会長からの呼びかけ	○本部テントに中学生受付コーナーを用意	○本部テントに中学生受付コーナーを用意
ツール （特別に用意したもの）				
場所	向島百花園児童遊園	第二寺島小学校校庭	ふじの木公園	第一寺島小学校校庭

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【B. イベント】 (メインとなる活動を45分1コマとして記入してください)

タイトル	堤通一丁目町会防災訓練	東向島二丁目町会防災訓練	本所北部連合町会合同防災訓練	「地域防災意識調査」郵送調査
実施日	10月28日(日)	11月11日(日)	11月25日(日)	12月20日～
所要時間	午前10時～	午前9時～12時	午前9時～12時	
達成目標	台風のため、グランドコンディションが悪く中止	参加者約100名 内中学生3名	参加者約650名 内中学生12名	対象約25人
生成物	○中学校に対する「実績報告書(11月1日付け)」	○「地域防災意識調査」回収3件 ○「地域防災訓練参加証明書」発行3人 ○中学校に対する「実績報告書(11月12日付け)」 ○主催者に対する「実績報告書(11月1日付け)」	○「地域防災訓練参加証明書」発行12人 ○中学校に対する「実績報告書(11月25日付け)」 ○主催者に対する「実績報告書(11月1日付け)」	○「地域防災意識調査」回収2件(内有効1件)
進め方 (箇条書き)		○全体集会で会長からの呼びかけ	○本部テントに中学生受付コーナーを用意	
ツール (特別に用意したもの)				
場所	さくら児童遊園	ふじ公園	隅田公園自由広場	

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 実践の詳細【C. 総合的な学習時間】（メインとなる活動を45分1コマとして記入してください）

タイトル				
実施日				
所要時間				
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意したもの)				
場所				

**2007年度防災教育チャレンジプラン
最終報告書**

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

6. 実施後

参加者へのアンケート結果	<p>今回の試みでは、参加者として対象である中学生と主催者であった地域町会関係者の皆さまがいた。</p> <p>中学生としては、概ね積極的な感想が寄せられ、次回からは友人も誘って参加する等の声もあった。</p> <p>地域町会の関係者については、今回の中学生参加者が少なく残念だったという声とともに、次回以降はもっとPRしたいなどの非常に積極的な声が寄せられた。</p>	
成果として得たこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区立中学校で、地域の防災訓練との連携する糸口になったこと。 ○ 区立中学校で、地域防災訓練をPRする糸口になったこと。 ○ 参加中学生の多くが、小学校時代も地域の防災訓練に参加したことがあったこと。 	
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域防災訓練参加証明書」を取得した中学生のリスト (適宜、学校と主催者へ報告) ○ 中学生の地域防災意識調査報告書 ○ その他、準備資料、広報資料などの今後に生かせる資源 	
広報方法	広報した先	
	広報の方法	
	取材に来たマスコミ	なし
	広報された内容	なし
	成功点	
	失敗点	地元のケーブルテレビへ依頼はしたが、同時期、秋のイベントが多く、結果的に取材はなかった。

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

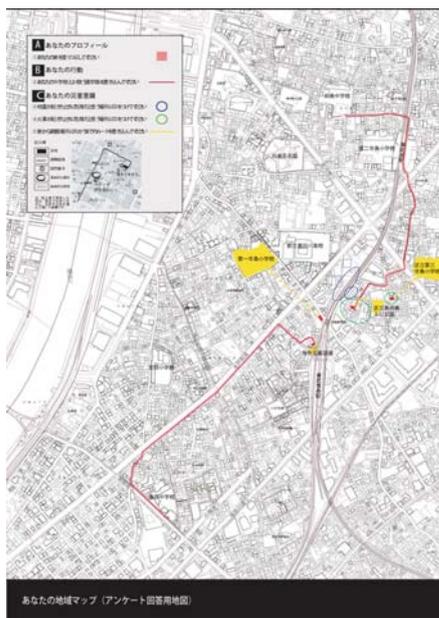
<p>全体の感想と 反省・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年、中学校と消防署とが連携し、救急救命講習会を実施する学校が増えてきていた。この辺の情報が全く分からなかったため、プランで予定した救急救命講習会の実現を見直さなければならなかった。 ○ 今年度の事業に参加できなかった地域町会の中には、具体的な内容が分からず、地域町会の会合で議論することが困難だったとのお話を聞いた。 ○ 防災訓練の集中する秋の時期は、中学校にとっても学校行事等の忙しい時期である。また、近年の学校公開等の事業が休日に開かれるなど防災訓練の実施日と重複することも多い。このような場合、隣接町会の防災訓練への参加を容認するなどの地域での対処が必要となる。 ○ 今回は、初めての試みであり、前提となる中学校のご理解をいただくことに多くの準備時間をとり出足が遅れてしまった。次年度以降はこの辺の時間が短縮できるものと思う。 	
<p>今後の予定</p>	<p>来年度以降の 取り組み方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加した生徒の整理、各実施団体、各中学校への成果報告など、この運動が広がっていくと、我々の団体の事務だけでは限界があることが見えてきた。 (区立中学校12校、生徒数約3,600人、町会数150団体以上) 今後は、各主催者へのノウハウの提供、各主催者に対する行政の支援等も考えていかなければならないと思う。 ○ 参加した中学生は、小学校時代にも地域町会の防災訓練に参加した生徒が多かったことから、小学生対象の「地域防災訓練参加証明書」を作りたいと思う。
	<p>ぜひ実施して みたい取り組み</p>	<p>同上</p>
<p>自由記述</p>	<p>今回のプランは、私達の地域で被災時に中学生の果たす役割が非常に大きなものであるということから、中学生と地域の繋がりを、地域町会が実施する防災訓練への参加促進をめざすことによって作り出そうと立案された。今回の参加者は決して多くはないが、実施にご協力いただいた各町会地域は、来年こそはより多くの中学生を向かい入れる工夫をしたいと張り切っている。また、中学校も地域との連携という点から、また災害に弱いと言われる墨田の学校として、試行錯誤は多かったが、多大なご協力をいただけたものと思う。</p> <p>ささやかな提案ではあったが、私たちのまちに対して大きな一歩をあゆみ出せたと考えている。</p>	

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

図1 「地域防災訓練参加証明書」

図2 「地域防災意識調査」調査票

図3 「地域防災意識調査」調査事例



2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

図4 宮元町会が発行した地域向け回覧板

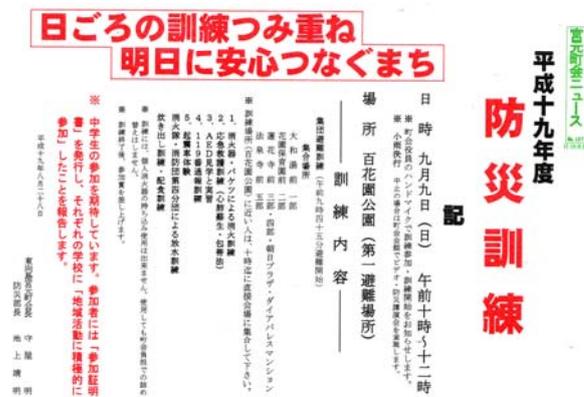


図5 東向一南町会・東向島中町会・東向島睦町会合同防災訓練での参加中学生



図6 東向島二丁目町会防災訓練での参加中学生



図7 本所北部連合町会合同防災訓練に参加した中学生グループ

2007年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書



図8 同上 受付風景

